

# 令和元年度事業報告

## I 事業総括

令和元年度の共同募金は、多くの県民の皆さまに支えられ、10月1日から3月末日までを運動期間として、第73回目の運動を展開いたしました。

募金実績につきましては、一般募金（赤い羽根募金）の目標額137,377,000円に対し、122,748,531円の募金が寄せられ、歳末たすけあい募金は、目標額30,609,000円に対して25,892,699円の募金がありました。

募金額は、引き続き世帯の減少や地域社会の変化等により、前年度実績に比べ一般募金は約1,461千円の減額、歳末たすけあい募金は約2,153千円の減額となりました。

このような状況の中で、本運動が成果を上げることができましたのも、共同募金委員会の役職員並びに自治会の関係者をはじめ、約7万8千人のボランティアの皆様の積極的な募金活動と、県民の皆様の温かいご協力の賜ものと心から感謝申し上げます。

お寄せいただいた募金につきましては、運動開始前に公募による要望を募り、市町村社会福祉協議会の地域福祉・在宅福祉事業、社会福祉施設の機能強化のための備品整備事業、社会福祉団体及びボランティア団体などへ助成することができました。

### 1 共同募金の実績と助成

県内の民間社会福祉事業を支援するため、前年度の県・市町村社会福祉協議会、民間社会福祉施設、社会福祉団体等からの助成要望並びに前年度の募金実績額などを勘案し、理事会・評議員会の承認を受け、令和元年度の募金総目標額を167,986,000円（一般募金137,377,000円、歳末たすけあい募金30,609,000円）と定め、10月1日より一般募金（赤い羽根募金）運動、また、12月1日から歳末たすけあい募金運動を展開した結果、148,641,230円（一般募金122,748,531円、歳末たすけあい募金25,892,699円）（目標額達成率88.5%）の募金実績を収めることができました。

なお、これら県民から寄せられた寄付金は、市町村社会福祉協議会、社会福祉施設、社会福祉団体等からの助成金要望書を基に、事務局によるヒアリング及び配分委員会における審議を行った後、理事会・評議員会の承認を経て、適正な助成を行いました。

(1) 一般募金＜赤い羽根募金＞（運動期間：令和元年10月1日～令和2年3月31日）

ア 募金実績

(ア) 目標額 137,377,000円

(イ) 実績額 122,748,531円（目標額達成率 89.4%）

イ 助成の概要

配分委員会において募金の適正助成の計画に努め、募金実績確定後に行う第3回配分委員会にて最終助成内容を審議し、その結果を「令和元年度共同募金助成

計画（案）」にまとめ、理事会（令和2年3月19日開催）・評議員会（令和2年3月―決議の省略）において承認を受け、次のとおり助成を行いました。

- (ア) 「高齢者」を対象とする活動への助成。（全130事業）
- (イ) 「障がい児」「障がい者」を対象とする活動への助成。（全112事業）
- (ウ) 「児童」「青少年」を対象とする活動への助成。（全162事業）
- (エ) 「課題を抱える人」を対象とする活動への助成。（全36事業）
- (オ) その他「住民全般」を対象とする活動への助成。（全238事業）
- (カ) テーマ型募金（運動期間：令和2年1月1日～3月31日）  
地域課題の解決につなげるテーマ型募金を実施。（全1事業）

(2) 歳末たすけあい募金（運動期間：令和元年12月1日～12月31日）

ア 運動の推進

NHK宮崎放送局、宮崎日日新聞社、各金融機関等の全面協力を得て県下一斉に実施しました。

イ 募金実績

- (ア) 目標額 30,609,000円
- (イ) 実績額 25,892,699円（目標額達成率 84.6%）

ウ 助成の概要

運動の趣旨に添って生活困窮者、在宅で支援を必要とする高齢者や障がい児・者、交通事故・産業災害等遺児をはじめ広範囲に激励、支援を行いました。

また、在宅の方々に対しての支援として市町村社会福祉協議会に無料貸出し用の福祉機器の整備と、地域歳末においては、地域住民の参加による在宅福祉活動や地域での支援を必要としているの方々（世帯）への支援・援助事業の実施に助成を行いました。

## 2 会務の運営

定款の定めに基づき、理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催とともに、監事による監査を実施し、適切な運営を図りました。

- (1) 理事会 第1回－6月10日（月）、第2回－6月25日（火）、第3回－10月28日（月）、第4回－3月19日（木）
- (2) 評議員会 第1回－6月25日（火）、第2回－3月（議決の省略）
- (3) 評議員選任・解任委員会 第1回－6月12日（水）、11月（決議の省略）、2月（決議の省略）
- (4) 監事監査 5月21日（火）

## 3 県民にわかりやすい広報活動の展開

募金推進のために県民の理解と参加を促進するため、広報委員会等の協議を経て次のとおり積極的に展開しました。

- (1) 一般募金
  - ア 赤い羽根図書・クオカード原画募集

(ア) 趣旨

温かいたすけあいの心の輪を広げるため、赤い羽根図書・クオカードを作成し募金運動推進に活用しました（①最優秀作品1点を図書・クオカード原画として採用。児童生徒等が応募することにより、温かいたすけあいの心を児童生徒等が自覚し、事前に共同募金の理解、協力と参加が得られます。②最優秀作品以外の中から、年賀状の図柄にふさわしい作品を令和2年のお年玉付きキャラクター年賀はがきの原画として採用）。

(イ) 応募総数

696名－727点（小学生89名－102点、中学生400名－410点、高校生179名－180点、一般その他28名－35点）

イ 赤い羽根図書・クオカード原画表彰式

最優秀作品および優秀作品の入選者を対象に、令和元年9月27日（金）に宮崎市の宮日会館1階イベントプラザにおいて表彰式を実施しました。

ウ 赤い羽根図書・クオカード原画応募作品展

応募のあった全作品を9月27日（金）から10月2日（水）の6日間、宮崎市の宮日会館1階イベントプラザに展示しました。

エ お年玉付きキャラクター年賀はがきの作成

共同募金のキャラクターである「愛ちゃんと希望くん」および干支を色刷りした年賀はがきを作成し、資材として活用しました。

オ 新聞への広告掲載

令和2年度事業への助成募集案内を4月20日付け、令和元年度の募金計画等を10月1日付けの宮崎日日新聞に全5段の広告を掲載しました。

カ 赤い羽根空の第一便セレモニー

10月1日に全日本空輸の全面協力を得て、厚生労働大臣・中央共同募金会会長メッセージの伝達式を宮崎市中心街（ボンベルタ橋交差点角）で、宮崎県福祉保健部次長・宮崎市長・宮崎県共同募金会副会長・宮崎市共同募金委員会会長をはじめ関係者やボランティアの出席のもと実施しました。

また、セレモニー終了後、10月1日から赤い羽根共同募金運動が開始されたことを県民にアピールするため、宮崎市内10か所で県・市関係者並びにボランティアの協力を得て街頭募金を実施しました。

キ 全世帯配布用チラシの作成

共同募金運動期間前に、地域の助成結果報告・募金計画・市町村ごとの助成結果報告・募金計画を掲載したチラシを全戸に配布し、募金への協力依頼並びに共同募金への理解促進に努めました。

ク テレビスポットの放映およびラジオスポットの放送

中央共募作成分を、地元放送局の協力により放映・放送しました。

(ア) テレビ…10月～3月（MR T宮崎放送、UMKテレビ宮崎、宮崎ケーブルテレビ、BTVケーブルテレビ、ケーブルメディアワイワイ）

(イ) ラジオ…10月～3月（MR T宮崎放送、エフエム宮崎）

ケ 宮崎市内のデパートに懸垂幕を掲示（宮崎山形屋・ボンベルタ橋）

- コ 「愛ちゃんと希望くん」着ぐるみの貸出し
- サ 宮崎日日新聞やホームページで、令和元年度事業にかかわる要望受け付けなどの情報提供を行いました。
- シ 赤い羽根募金支援自動販売機の設置促進  
平成20年度から募金推進の取組として、寄付金付きの赤い羽根共同募金支援自動販売機の設置促進を図っており、県・市町村社会福祉協議会、民間企業等の協力を得て、令和2年3月31日現在、16台の自動販売機を設置しています。

## (2) 歳末たすけあい募金

### ア 歳末たすけあい街頭募金セレモニー

12月1日に歳末たすけあい運動が開始されたことを県民にアピールするため、宮崎市内10か所で県・市関係者並びに募金ボランティアの協力を得て実施しました。

### イ 歳末たすけあい贈呈式

歳末たすけあいの助成内容を県民に周知するために、12月17日（火）にNHK宮崎放送局・宮崎日日新聞社関係者出席のもと、在宅の要援護者に毛布等、児童養護施設や障がい児施設の子どもたちに遊具等を贈呈しました。

### ウ 新作カレンダーバザー展の開催

歳末たすけあい募金の増強のために12月21日（土）から23日（月）まで、宮崎県福祉総合センター本館にて開催しました。

県内外の225の企業・団体・個人等から12,000点の寄贈があり、販売総額が1,161,104円となり、全額を歳末たすけあい募金へ寄託しました。

### エ 宮崎ヤクルト販売株式会社「福祉ヤクルト」寄付金

歳末たすけあい募金に318,000円寄付していただきました。

（昭和48年度～令和元年度 累計 19,113,000円）

### オ 1,000,000人のサンタクロースキャンペーンの実施

児童養護施設や障がい児施設の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈ることを目的に、11月下旬から12月下旬にかけて、協力を得た企業等に19本のクリスマスツリーと募金箱を設置しました。募金総額は179,860円となりました。

## 4 各種会議・委員会

事業計画に基づく各種会議・委員会を開催し、共同募金運動に関わる事業の円滑な推進に向けて協議を行いました。

- (1) 配分委員会 第1回－7月12日（金）、第2回－9月12日（木）、第3回－3月3日（火）
- (2) 広報委員会 第1回－5月15日（水）、第2回：8月19日（月）
- (3) 市町村共同募金委員会事務局長会議 4月22日（月）、1月22日（水）
- (4) 市町村共同募金委員会担当職員研究協議会 9月5日（木）

## 5 顕彰

### (1) 宮崎県共同募金会会長

10月30日(水)にメディキット県民文化センターで開催した宮崎県社会福祉大会において表彰を行いました。

#### ア 表彰

- (ア) 篤志寄付特別表彰 個人2名
- (イ) 奉仕功労者 個人2名、団体4団体
- (ウ) 優良地区 15地区

#### イ 感謝

- (ア) 篤志寄付者 個人6名、団体9団体

## 6 公益資金等の導入

赤い羽根共同募金運動以外にも県民の福祉向上のために、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団等の公益事業振興助成事業の窓口業務を行っており、毎年助成金などの導入を図っています。

### (1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団 5件 5,030,000円

ア (特非) 吹矢 de 元気! 協会: 障害福祉サービス事業所 T. H. S. RaCoo!  
送迎用福祉車両整備

イ (特非) 山田りんどう福祉会: 障害者自立訓練(生活訓練)事業所 さんさん  
訓練棟作業環境整備(流し台、換気扇、洗面台の設置)

ウ (社福) エデンの園: 障害者支援施設 エデンの園  
送迎用車両整備

エ (特非) ハッピーデイズ: 就労継続支援B型事業所 元気  
就労支援作業車両整備

オ (特非) 一歩会: 生活介護事業所 一歩  
送迎用車両整備

### (2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団 1件 4,000,000円

ア (社福) 美山会: 希望ヶ丘こども園  
冷暖房設備整備